

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2022年12月16日 金曜日

## Flows for APEXによる休暇申請フローの作成(3) - APEXアプリケーションの作成

休暇申請のワークフローを処理するAPEXアプリケーションを作成します。

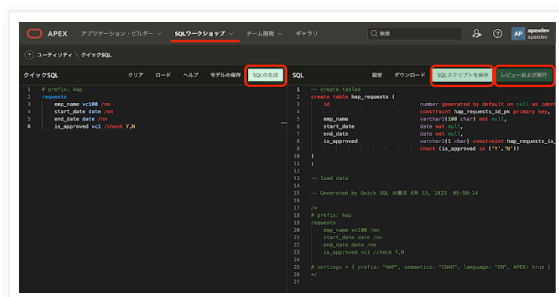
### 休暇申請アプリケーションの作成

休暇申請を保持する表を作成します。**クイックSQL**の以下のモデルより、表**HAP\_REQUESTS**を作成します。

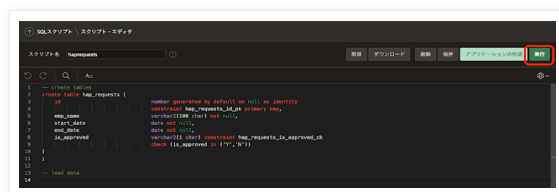
```
# prefix: hap
requests
  emp_name vc100 /nn
  start_date date /nn
  end_date date /nn
  is_approved vc1 /check Y,N
```

主キーである列**ID**(自動生成なので定義には含まれません)の他に、従業員名(**emp\_name**)、休暇の開始日(**start\_date**)、終了日(**end\_date**)、承認または却下のフラグ(**is\_approved**)を定義します。

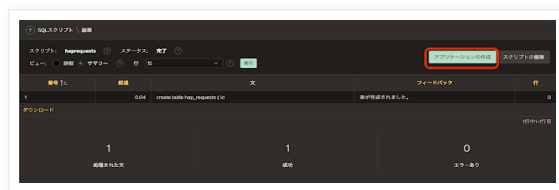
**SQLワークショップ**のユーティリティより、**クイックSQL**を開きます。左側に上記のクイックSQLのモデルを記述し、**SQLの生成**、**SQLスクリプトの保存**と続けて、**レビューおよび実行**を行います。



以下の画面ではアプリケーションの作成ではなく、**実行**をクリックします。



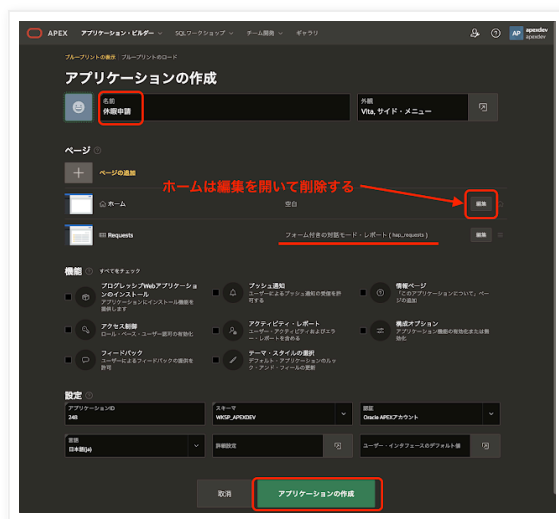
この後に表示されるダイアログにて、DDLの**即時実行**を行います。表HAP\_REQUESTSが作成されたことを確認し、**アプリケーションの作成**を実行します。確認画面が表示されるので、そこでも**アプリケーションの作成**をクリックします。



アプリケーション作成ウィザードが起動します。

アプリケーションの名前を休暇申請とします。デフォルトで表HAP\_REQUESTSをソースとする対話モード・レポートとフォームのページが作成されます。ホーム画面は不要なので**編集**をクリックして削除します。

アプリケーションの作成を実行します。



アプリケーションが作成されました。ワークフローの処理を組み込む前に、いくつか準備をします。

アプリケーション定義の編集をクリックします。



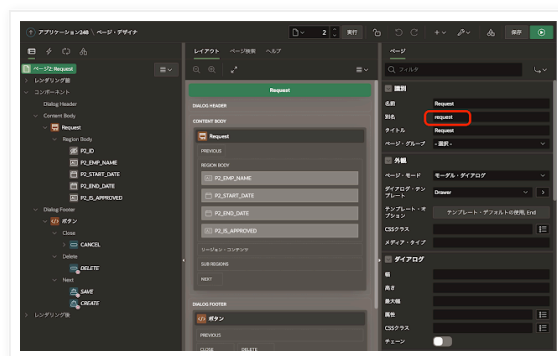
アプリケーションの別名を休暇申請から、フロー・モデルで使用しているHOLIDAYREQに変更します。**変更の適用**をクリックします。



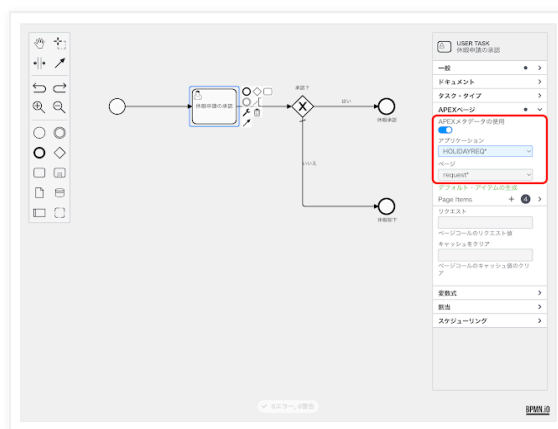
ページ番号2として作成されているフォームのページRequestを、休暇申請のフロー・モデルのユーザータスクとして定義しているAPEXページにします。

ページ・デザイナーにて、ページ番号2のRequestを開きます。

識別の別名がユーザータスクのページIDとして設定したrequestになっていることを確認します。



APEXアプリケーションがフロー・モデルよりも先に作成されていると、フロー・モデルを作成する際にAPEXメタデータを使用することができます。



以上でワークフローを実装するAPEXアプリケーションの作成は完了です。

次の記事では、このアプリケーションにワークフローの処理を組み込みます。

続く

Yuji N. 時刻: 17:32

共有

[ウェブ バージョンを表示](#)

#### 自己紹介

**Yuji N.**

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.

---